ニコラ・アンゲリッシュ（ピアノ）

Nicholas Angelich, Piano

1970年アメリカ生まれ。13歳でパリ国立音楽院に入学し、チッコリーニ、ロリオ、ベロフらに師事。フライシャーやピリスらにも学び、1994年にジーナ・バッカウアー国際コンクールで優勝。2003年にはマズア指揮ニューヨーク・フィルとベートーヴェン「皇帝」を弾いて同団にデビューした。

デュトワ、ユロフスキ、ネゼ=セガン、ソヒエフ、ハーディング、ゲルギエフらの指揮のもと、パリ管、ロンドン響、ロサンゼルス・フィル、マリインスキー劇場管、マーラー・チェンバー・オーケストラなどと共演。ロンドン、ミュンヘン、アムステルダム、ローマ、パリなどの主要都市でリサイタルを行い、アルゲリッチ主宰のルガーノ音楽祭から定期的に招かれている。

室内楽にも力を入れ、アルゲリッチ、シャハム、ヨーヨー・マ、ルノー＆ゴーティエ・カプソン、モディリアーニ四重奏団などとも共演。

古典、ロマン派から現代音楽までレパートリーは広く、ベートーヴェンのピアノ

ソナタ全曲やリストの「巡礼の年」全曲を世界中で演奏。マントヴァーニ「Suonare」、アンリの「オーケストラのないピアノ協奏曲」などを初演している。

レコーディングも多く、J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」やラフマニノフやラヴェルの作品集、リスト「巡礼の年」全曲（ショク賞受賞）、P.ヤルヴィ指揮hr響との共演によるブラームスのピアノ協奏曲2曲などのほか、最近ではプレイエル・ピアノを弾いたベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、第5番「皇帝」（エキルベイ指揮インスラ・オーケストラ）をリリースした。